

＜医療保健学部 看護学科＞（認定課程：養護教諭一種免許状）

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・大学で看護という学問を学び始める心構えおよび具体的な方法について学ぶ ・「いのち・人間」を考えるための基盤となる教養を身につけるべく、自然科学、社会・文化、語学などについて学びを深め、社会人としての一般教養を醸成し、グローバルな視点を養う。 ・専門職の教育としては、医学的知識を学ぶための基礎となるひとの身体について学習する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・前期で学んだ内容についてさらに幅広く、なおかつ深く学修する。 ・看護実践の基礎となる技術を学修する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・「いのち・人間」を考えるための基盤となる教養を身につけるべく、自然科学、社会・文化、語学などについて、自身の興味のある分野について選択し、さらに学びを深める。 ・1年次に学修した医学的知識を基盤として、疾患の理解を深める。 ・学校教育の基礎知識を身につけ、教職に求められる理念や思想、今日的課題について理解できる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・医療について個別の視点から社会全体を見るための基礎知識を身につける。 ・看護について分野ごとに基本的な知識を身につける。 ・学校教育の諸制度および教育方法などについて説明できる。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・健康上の課題のある対象への看護について学修する。 ・養護実践についての基礎知識を学修し、養護実践についてイメージすることができる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床の場で実習することによって、これまで学んだ知識を深める。 ・養護実践力の構成要素について説明できる。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床の場で実習することによって、これまで学んだ知識を深める。 ・教育の場で実習することによって、これまで学んだ知識を深める。 ・多職種と協働する方法、調整力やマネジメント力を高める方法について説明できる。 ・養護教諭としての志向を高め、自分自身の課題について考えることができる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだ知識を統合し、深める。 ・養護実践能力の構成要素について説明できる。 ・養護実践における課題を言語化し、その解決方法について考えることができる。

<医療保健学部 看護学科> (認定課程: 養護教諭一種免許状)

(2) 具体的な履修カリキュラム

		教職に関する科目	養護に関する科目	養護又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職に関連のある科目
年次	時期	科目名称	科目名称	科目名称	科目名称	科目名称
1年次	前期		看護学概論	ボランティア論	英会話 I	
			体の仕組みと働き I	ボランティア活動	情報リテラシー	
					スポーツ科学	
					スポーツ実習	
	後期		病原微生物学			
			基礎看護援助実習 I			
			公衆衛生看護援助論 I			
			体の仕組みと働き II			
			栄養学総論			
			臨床薬理学			
2年次	前期	教育原理	疫学・保健統計論	クリティカル・シンキング II		
		教育心理学	生涯発達ケア論			
		教職論	精神看護援助論 I			
			公衆衛生学			
	後期	教育制度論	保健医療福祉行政学			
		教育課程論	小児看護援助論 I			
		教育方法論	基礎看護援助実習 II			
			急性期看護援助論			
			精神看護援助論 II			
3年次	前期	特別活動の指導法	小児看護援助論 II		日本国憲法	
		生徒指導論	養護概論			
		学校教育相談	学校健康相談			
		特別支援教育の基礎				
		道徳教育/総合的な学習の時間の指導法				
	後期		急性期・慢性期看護学実習			
			母性・小児看護学実習			
4年次	前期	養護概論実習事前・事後指導	急性期・慢性期看護学実習			
		養護実習	母性・小児看護学実習			
	後期	養護概論実習事前・事後指導	看護の統合実習			
		養護実習				
		教職実践演習				